

中央教育審議会答申のポイント

課題

「基準性」の明確化

学習指導要領の内容の
定着が不十分
学習指導要領に示されて
いない内容の指導に消極的

学校での指導時間

教科指導に必要な時間が
確保されていない例

学校行事が過度に削減さ
れている例

総合的な学習の時間

単なる体験活動に終わっ
ている例

子どもまかせで適切な指
導が行われていない例

個に応じた指導

習熟度別指導や補充・発
展的な学習に消極的な例

一部の学校・教師のみが
導入(教員ベースでは約2割)

「基準性」とは、学習指導要領に明示されてい
る共通に指導すべき内容を確実に指導した上
で、子どもの実態を踏まえ、明示されていない
内容を加えて指導することもできるという性格

全国共通に指導すべき基礎的・基本的な内容の確実な定着を！！各学校の創意工夫と各教育委員会の積極的な取組を！！

提言

学習指導要領の内容(基
礎的・基本的な内容)の確実
な定着

子どもの実態を踏まえ、
学習指導要領に示してい
ない内容も必要に応じ指導
(補充・発展、深化・応用など)

基礎的・基本的な内容の
確実な定着に必要な指導時
間を十全に確保(各教科+学校行
事等)

時間割の見直し、短縮授
業の見直し等の工夫

身に付けさせたい力を明
確化し、全体計画を作成・実
施

子どもの実態を踏まえた教
師による行き届いた計画的な
指導

全ての学校・教師が、子
どもの実態や指導の場面に
応じて、習熟度別や補充・発
展など、個に応じた指導を
柔軟かつ多様に導入

[確かな学力]とは、知識や技能に加え、思考力・
判断力・表現力までを含むもので、学ぶ意欲を重視
した、これからの子どもたちに求められる学力

「わかる授業」を行い、[確かな学力]を育成
新学習指導要領のねらいを一層実現し、特色ある教育・学校づくりを推進